

平成18年(昭和31年)1月9日(月)

東海の古代

第68号 編集・発行 古田史学会・東海

代表 林 俊彦 〒461-0025 名古屋市東区徳川1-729

メール frttokai@zm.commuja.jp

電話/FAX 052(936)5012

郵便振替 00870-5-30752

伊邪那美命言ひしく、「愛しき我が汝夫の命、かく為せば、汝の國の人草、一日に千頭絞り殺さむ。」といひき。ここに伊邪那岐命詔りたまひしく、「愛しき我が汝妹の命、汝然為ば、吾一日に千五百の産屋立てむ。」とのりたまひき。ここをもちて一日に必ず千人死に、一日に必ず千五百人生まるなり。(古事記)

イザナギがお疲れ気味なのか、イザナミのご機嫌が悪いのか、ついに日本は人口減少期に入ったとの報道の中、新年を迎えました。

しかし狭い国土に日本人が一億を超え、さらに無限に増殖できるはずありませんでした。自然の摂理が働き始めたわけです。人々がゆとりある生活を求めての選択の一つでもあります。正常に戻ろうとしていると、言えるかもしれません。ただし、かなり痛みをとまなうことになるのかも。

いろいろと思いをめぐらす年頭です。まずは明けておめでとうございます。

古田先生も今年は新たな企画を展開されようとしています。東海の会も、ささやかながら貢献していきたいものです。ご協力をお願いします。

新説誕生？

軍尼、一百二十人有り。猶中国の牧宰のごとし。八十戸に、一伊尼翼を置く。今の里長の如きなり。十伊尼翼、一軍尼に属す(隋書倭国伝)

昨年12月例会で、瀬戸の林さんが実におもしろい仮説を出されました。

すなわち上記の「伊尼翼」は、今までは三字で

一語と解されてきました。例えば記紀によく見る「稲置」などを指すのでは、という解釈です。しかし実は「伊尼」「翼」の二語に分けるべきではないかとの指摘です。

八世紀に大和王朝は首都防衛のため五衛府の制をしいていました。五衛府とは、衛門府、左右衛士府、左右兵衛府で構成されましたが、このうち兵衛府だけが他と違っていました。長が従五位(他は正五位)と下げられ、構成員も違っていました。九州王朝の流れをくむ軍制ではないかという論議が古田史学会内で出てきています。

五衛府には督・佐・尉・志の四等官を置きましたが、大宝令制では兵衛府のみ率・翼・直・志の四等官でした。この兵衛府の第二等官が「翼」です。補助者、補佐役という意味を表すと思われる。「大政翼賛会」の翼もこれでしょう。

隋書に現れる、この「伊尼翼」は伊尼(正)と翼(副)の二つの官職である、と考えると軍尼と伊尼は共に二字で語尾が尼でそろって具合がよいです。さらに「尼」が何を意味するかは今後の課題でしょう。仲尼(孔子)からきているかも知れません。九州王朝の軍制や行政制度を解き明かす上で、新たな展望が出てきたように思えます。今後の追究が楽しみです。

2月例会に参加を

日程：2月19日(日)午後1時～4時半

場所：名古屋市公会堂第3集会室(2階)

名古屋市昭和区鶴舞1丁目1-3

地下鉄鶴舞線「鶴舞」下車4番出口徒歩2分

JR中央本線「鶴舞」下車公園出口徒歩2分

参加費：500円(維持会員は無料)

今後の予定

3月例会：未定

4月例会：4月9日(日)

例会はなるべく毎月第2日曜日にしたいのですが、会場の都合等によりしばしば変則的になります。日程をよく確認しお出かけください。

古田先生とその学問に興味のある方ならどなたの参加も歓迎します。

3月はいつもの会場を確保できませんでした。次回の通信でお知らせすることにします。かわりに3月12日(日)に名古屋市博物館へ出かける、という案はどうでしょうか。

大阪新年講演会

期日：平成18年1月21日(土)

午後1時半より午後4時半

場所：大阪市立総合生涯学習センター

大阪駅前第二ビル

第1研修室

(JR大阪駅中央出口南5分)

JR北新地駅すぐ

(電話06-6345-5000)

※場所の問い合わせのみにして下さい

挨拶：「浦島太郎は南米に行った」

代表 水野孝夫

講演：子孫が語る浦島太郎の系図と伝承

講師：森茂夫氏(古田史学の会会員)

主催：古田史学の会(全国組織)

参加費：700円

※午前中(10時から)第6研修室で関西例会

秋七月に、丹波國の餘社郡の筒川の人瑞江浦嶋子、舟に乗りて釣す。遂に大亀を得たり。便に女に化爲る。是に、浦嶋子、感りて婦にす。相逐ひて海に入る。蓬莱山に到りて、仙衆を歴り覩る。語は別巻に在り。(雄略紀22年)

なぜこんな御伽話が王朝の正史に載るのか。語は別巻にありといいながら、なぜ別巻は現存しないのか。九州王朝の歴史に関わることなのか。尾張と関係あるとの説もある。様々に興味のわく記事です。浦島太郎のご子孫がどんな話をされるのか、まことに注目されます(私は仕事でいけません)。なお浦島を魏志倭人伝に登場する「裸国」と関係付ける発想もあります。

今年も九州

東海の会では、5月の連休を利用して、九州旅行を企画してきました。

一昨年は、久留米市を拠点に福岡県一円を周遊しました。昨年は佐賀市を拠点に佐賀県を周遊しました。毎年恒例の行事となったと思います。今年も九州に行きませんか。

順当にいけば、九州東半、豊の国・大分県になるでしょうか。宇佐神宮や英彦山ほか訪れたいところが無数にあります。しかし長崎も行きたいし、熊本県も行きたいし、悩ましいところです。新しく開館した太宰府の博物館もぜひ行っておきたいところです。

例会にてご意見を拝聴します。多数の参加を期待します。

古書即売会

第54回倉庫会

古書即売会

最近の名古屋古書会館の古書即売会は、下記のように開催されます。

期間：2月3日(金)～5日(日)

時間帯：午前10時～午後6時(最終日は5時迄)

会場：名古屋古書会館

名古屋市中区千代田五丁目1番12号

TEL(052)241-6232 FAX(052)252-0992

(電話・ファックスは会期中のみ)